禁裏御所御用日記 二八八

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

五三一

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

五十一

元文三巳年六月

等賀御祝の記

宮内庁書陵部
288

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

元文二巳年六月晦日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

元文二巳年六月晦日

一壽宮様ニ御知行三百石四院
壽方石ニ付被為進ル旨傳
奏院ニ仰渡

七月十日
一同宮様ニ四位附人河内花文
隠居金弐拾両武家
ヘ仕下ル筋伺中渡

同月十九日
一法皮屋法門堂御屋敷ヘ
御下り有之旨
宮様御用ニ小紙法可渡旨兼
少納言ヘ仰渡

同月廿六日
一今日巳刻屋法門堂御屋敷ヘ
御下り被遊候ニ付而御用ニ供也

八月二日
一御四院ニ物成残銀八貫文四月
分　壽宮様御用ニ為進ル旨ニ付而
中橋ニ右銀ヲ方ニ渡ス

十月七日
一壽宮様ニ四位ヘ
御中元ニ付而歳暮ニ付中渡

一年中御合力米五拾石銀三拾
枚宛ヲ進ル壽宮様今年ヲ以差上

大正 6. 4. 13 寄贈

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

元文二巳年六月晦日

○一堂寺宮様ニ御知行三百石門院
参方ニ被為進ル旨傳
奏院ニ仰渡ス

七月十日

一同宮様ニ西附人河内花之丞
隠居ニ被仰付ル間毒武家
御下り申度

大正 6. 4. 13 閲覧

月番十九日

一公方様ニ御堂御墨御
御下り申度

十月十五日

一御領所被賜ル二百八拾石余
松濤ニ拾九石相極ル中ニ今日
所司代ニ附武家ニ仰渡ル

月三年年六月十二日

○一年中御合力米五拾石銀三拾
枚宛ニ進ル毒ニ今年ハ差上

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

二分 銀五拾枚宛ニ進ル出来乳
人 武家ニ被 仰出金高
銀二拾枚ニ進ル筈也

十二月十日
一 籌宮様御合力米五拾石并御扶持
代五石ニ上ル為月十二日ニ渡ス
年中ニ而渡ス
銀五拾枚ニ而進ル筈ニ拾枚ニ銀拾枚
ニ而進ル筈今日ニ仰出ス又十二月ニ
渡ス仰出ス筈ニ
年中ニ五拾石ニ而是迄ニ合力米
ニ而進ル御扶代五石銀拾
枚ニ進ル筈ニ
渡ス拾枚上ル筈ニ
仰渡ル筈ニ
四人扶持ニ者四人ニ者仰出ス
金五百疋仕十四人ニ鳥目ニ渡ス
ル筈

寛保元年十一月廿八日
一 来月二日御鉄將初ニ使番
二人ニ雇ル則申渡
十二月二日
一 御鉄將初ニ長橋殿ニ参り
ニ而花中裏高裏切ル
ル
一 去ル二日ニ雇ル使番ニ同孫ニ者
ル
同二日 年六月廿六日
一 夜ニ御金米二拾石ニ相伝ル

同五申年六月廿九日

一内親王　宣下

宮様ゟ　一折　把

綿　一荷

二種

正文編序

一今日御参内　還御申刻　供奉侍中

四人両輿ゟ番四人ゟ雇　侍中四人ト

合而百人仕　十四人ト鳥目出要文

寛保元酉年十一月廿八日

一来月三日御移徙　初而使番

両人　雇賃則中度

十二月三日

一御移徙初而　長橋殿中ゟ

正親町中納言殿　裏切ル

一去三日雇　使番　両孫ゟ者

同二申年六月廿六日

一夜御食米二拾石　内倉信濃

勅使ニ白銀綱令ノ給ハル義
仰ハ左大史清原
日三ヶ年十二月四日
一閑院様ハ御縁組表向ニ
仰ス閑院様ハ両傳奏向
久我大納言殿葉室黄大納殿
ニ仰上ル
宮様ニ大御乳人
勅使ニ青蓮院ハ波多野
相伴ハ久世
若大納言殿園黄大納殿
宮様ハ侍従ニ
仰ス御乳ハ
夕ハ御乳人ハ雑掌ハ祝儀
一大御乳人ハ
馬鞍ニ
一ハ
裏ハ
ハ

九日
一傳奏屋敷ヶ所ニ相渡ル仙洞
院様ヶ
一ヶ所仙洞建料銀六拾貫
目渡　関東ニ進備之
ヶ所ニ仙洞ヶ
仙洞并明日備変所ニ代ル
ヶ所ニ事ニ相渡ル年ヶ所
建料ニ進ル備変ヶ所
ヶ所ニ代ル
ヶ所ニ上ル代ル義ヶ所ニ
ヶ所ニ仙洞ヶ
ヶ所ニ仙洞ヶ
仙洞ヶ
ヶ所ニ
ヶ所ニ
ヶ所ニ

同四子年二月十日

一御入簾有之肝煎八條前
宰相殿ト真言宗 御対
面ハ御平面ニ成ル 蓮華光
院ハ八條殿ハ第也

一御拝料ハ銀子ハ時ニ当ル出備後
三郎 傳奏花山院ハ出羽守上
ハ。
一出羽守ハ御対面ハ面會御拝料
借受ル代文ハ代表ハ出羽守
ニ成ル張ル勅使ハ張ル長
一代度毎ハ書面ハ書光
ハ東紙被遣ハ喪紙ハ
提出ハ御出置ハ御拝
料ハ独ル
壽宮様御拝料出ル長
平御所ハ明廿九日ニ
勅使ハ銀子巻ハ
出ル文ハ封書ハ
二月十八日
山城十郎 馬頭
吉水宰相 帝釈
小倉宰相
飛騨守 御所

一大御乳人ゟ右銀之事申上
明日張紙ゟ出羽守
町奉行ゟ長谷川
傳奏屋敷ゟ明日張紙ゟ出羽
守申上候

請取申銀子之事

銀一百貫目者　常是色
右是者　壽宮御方御入籠
為御料御為進ゟ間請取
禁裏ゟ被為
申下仍如件

寛保四子年二月　座田陸奥守
飯室神祢守
花沼河内守
土山駿河守

小堀十左衛門
青木源兵衛

右之通相渡ゟ帳面上
田中出羽守
表書之通銀百貫目ゟ相渡
ゟ新年ゟ右之通
備後守

一十九貫次第九郎ゟ返事来
銀子儀ニ付申聞ル明日
出し明後晦日来ル時ゟ高橋
ゟ参内中来
サ九。
一大御乳人出門ニ出會ニ相
料町家ニ世話ニ頼ゟ
事ニ付頼ニ
一傳奏屋ゟ拾銀百匁明日
渡ス中ゟ渡ス届ル人
晦。
一御梅料銀百貫目勅使ゟ
少御十度代
高倉伯爵
三条実美公爵代
特使長谷
古毎人持参所渡ス水戸藩ゟ
渡ス中ゟ徳文列藩
四月廿
一銀百匁目録ニ付家ゟ事百貫代
牧野備後守ゟ渡ス
町家ゟ渡ス
家武家中ゟ
廿七
一二ヶ枝伊勢守ゟ
来廿九。町人ゟ頼ス

町年行所へ中渡ス　完了

ニ成ル事先達ル出張ス
所ヘ人ニ名前ニ名ヲ
廿九日
一御梅料銀四匁貫文賞
附ニ成牧野備後守ヘ中ヲ
町年行馬場備後守ヘ
世話ニ高橋十人組ニ町人ヲ
出役ヶ御所ヘ今日備後守渡ス
右百貫目沼尾左兵衛持参ス

備後守様
上田源左衛
石破伊左衛

右出合ニ報相渡町人ヲ
中ヘ
奉請取銀高之事
合銀百匁貫目也
右者
等寺宮様御用銀ニ付書面
之通於御役所御預ヶ被仰
年賦利足ニ成月ニ来ル
積上納ニ付元銀ニ成行時
ニ成ル下知次第上納ニ付
仍ニ依之差上ル如件

御乃番十人組

延享元年子閏　　印万壽丸紙

村上彩雲筆

川脇長明筆

[illegible]

[illegible]

[illegible]

延享元年子四月　　御方番十人組

　　　　　　　　　村上彦兵衛

　　　　　　　　　川勝長四郎

　　　　　　　　　竹川長兵衛

　　　　　　　　　長谷平兵衛

　　　　　　　　　森左兵衛

　　　　　　　　　真田伝兵衛

　　　　　　　　　荒木伊兵衛

土山駿河守殿

小俣治部少輔殿

敏宮様御普殿

飛田藤兵衛殿

右手紙勘使右ハ頼ヶ垂大臣殿

ハ出ル

一寿宮様御産ノ祝ノ儀ハ

六月六日ニ

馬場殿ヲ以

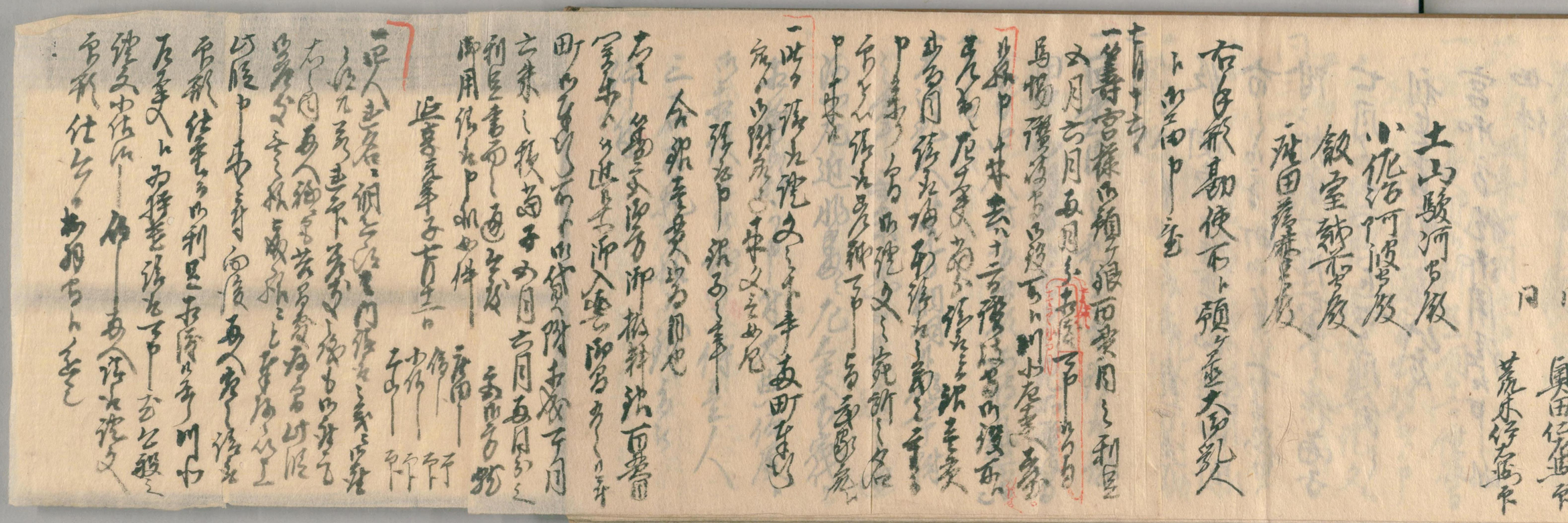
ハ出ル

[illegible]

一時ノ[illegible]

[illegible]

[illegible]



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

七月十六日

一而者同じく利長卿張本ニ
田中出羽守ト申ス中宛ニ
書記人ハ方ニ
八月十日
一大河乳人ト先日相聞ハ
ゝ事ニ云来ル四日迄ニ
京ニ迄出ル
去年乳人ト大典侍殿ト
ハ中ハ侯ニ言ハ
三石五拾俵
俵ニ

一御入簾ハ世祖ニ茶光院殿
[illegible] 御付代後[illegible]
右抱書附[illegible] 中務二位ヘ
[illegible] 御渡
十二月十六日
一今日馬物預渡[illegible]
[illegible]利豆備殿[illegible]

結取申銀子三貫六百
合銀三貫目也
右者
壽宮様御梅料銀四貫目
坂 関東ヘ進ル品ハ[illegible]間
布[illegible] 町[illegible]
附[illegible]
七月[illegible]十二月迄[illegible]月分[illegible]
利豆書面[illegible]通[illegible]
宮御方[illegible]御用[illegible]
如件

延宮元年[illegible]十二月 飯室神[illegible]
[illegible]

右村脇[illegible]
上田源[illegible]
右被仰[illegible]

[illegible]
附[illegible]
一毎町[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
延享二丑年七月十[illegible]
一銀一匁[illegible]
[illegible]
[illegible]
同三寅年十一月七[illegible]
一梁決門堂[illegible]
一上[illegible]
[illegible]
小都[illegible]
[illegible]
[illegible]
同四卯年七月廿四[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]
同辰年六月八[illegible]
一[illegible]町御[illegible]
[illegible]

[illegible]
附[illegible]
一毎町[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
延享二丑年七月十一日
一銀一匁[illegible]
[illegible]
[illegible]
同三寅年十一月七日
一果決門堂[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
同四卯年七月廿四日
一壽宮様[illegible]
[illegible]
[illegible]
同六辰年六月八日
一稲荷町御所[illegible]
[illegible]

籌宮様御入輿之者　奉賀
大納言殿御用向掛ル
仰付御道具万端大納言
相伺ヒ申ス八幡度是迄之通
出行奥向万端取扱
ヒ仕候旨尤当年度御用向
御用高相勤ル仰渡
宮様ニ被為中務之卿
宮様ヲ申ス
仰出ル

十日
一御婚礼儀及御入輿ニ町
奉行不行届御用筋
用仕奉ル殊ニ張本ヒ
丹波中将
丹波中将
丹波中将

一河内花之実唯今迄
叢之長ゟ献上
武家ゟ被
九月廿七
一宮様御殿上棟有之候ゟ
廿八日
一正親町
十二月十六
一明春御入叢有之
様申ゟ高進物
御暑服代 弐百疋
白銀拾貫 同
二百目
少ゟ
拾七両宛
御書棚
右代金拾貫
右金拾貫代
拾貫
右奥ゟ出
同二巳年四月十日
一宮様御殿張
出来ゟ
出来ゟ
十日
一御殿
御家図
東ゟ
観知院

宮様ハ 御参殿 ニ 御出 ニ 相成 ル 間敷 ト 御伺 ニ 相成 ル 旨 ニ 付 ハ 則 ち 御伺 ニ 相成 ル 中務大輔殿 ヘ 上

一 十月七日

壽宮御方 御帰宅 ニ 付 御宮御方 御簾人 壽宮御方 ヘ 御帰宅 ニ 付 御祝儀 ニ 相成 ル 旨 ニ 付 定 ル

一 今日 午刻 ニ 新御殿 ニ 御移 ニ 付 表向 ハ 町口 ニ 御中方 附添 ハ 小御所 ニ 御簾方 ニ 渡 ル

田中高橋
木村内通
小畑主水
小野信義

右 名 新御殿 ニ 罷有 ル 間 御用 ニ 付 御小姓 ニ 為 ル 人 ニ 付 ル

和泉

宮様 ヘ 御用 ニ 付 ル 日 ニ 付 ル

院御所 ヘ 御用 ニ 付 ル 日 ニ 付 ル

宮様 ヘ 中務大輔 ヘ 上 ル 人 ニ 付 ル 届 ニ 付 ル

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

二月廿
一
宮様ゟ居長ゟ不大切ゟ路
仕ル新大納言殿
御出居書ゟ
月長ゟ
一新大納言殿ゟ御使濱井和泉守
御宮様ゟ
御小袖一箱
御肴
小野法橋
三種一荷
以上四箱
上箱ゟ白銀拾枚
干鯛一箱
一中務卿宮和泉守法橋
ゟ口宣ゟ
中務卿ゟ
巻物
金
和泉守
法橋
一御宮様ゟ
仙洞御所ゟ
御宮様ゟ

壽宮様へ進物

御馬帽子

御垂衣

御指貫

御束廣

八日

一明九日 御殿へ御移徙到限

未皇子様へ高麗立物中来

九日

一今日 内院宮へ御移徙音信

御花饗

伺様へ

二種 一荷 彩色綱度

生綱 四月朔日 一荷 彩色綱度

一荷 彩色綱度

一品宮様へ御移徙音信

二種 一荷

仰宮様へ

勅使 西洞院内大臣 席次 堂上

御太刀 一腰

御馬 一疋 代金拾両

鵞 一箱

御樽 一荷

四月朔日

壽宮様へ
縮緬紅白五巻
二疋　一疋

右御使長橋殿ヲ以テ御書物　一箱

一壽宮様へ
御色紙金二面　西御所　概次中　服部ヲ以

御者　一折　勅使中

右代殿御使上ル

十六日
一御宮様　壽宮様今日西参
内

一壽宮様ノ日没中ノ路延ノ日
孫金弐百疋ヲ勅使中金弐疋
者一折ヲ勅使ノ下部ヲ以
日ノ面ノ又惜後ニ人ニ面又ニ疋
只人少ノ又ノ下

十七日
○一壽宮様御合薬五拾石御黒
服代五石見延ノ進ノ銀参
芸ノ初止現米百石ニ歳ノ進
及巳代銭弐百ノ下ノ立ノ
長橋殿ヘ　御乳母大御乳人

仙洞へ

一御会席ニ後備後守殿ヘ
同後相伴西園寺大納言殿
中宮別当大納言乳人ヘ中上
一番ニ西園寺武家ヘ
仰出ル旨之
三月七日
一法会日逐一百石ニ成ル進ル
中略夜
櫻町御所ヘ
仰出
禁中ヘ
櫻町御所ヘ
御所ヘ中事
十二日
一宮様ヘ
仰出ル旨之
寿宮様ヘ
御進ル旨今朝
百上箱出會
仰付ル様ニ
壹萬金御ニ
一宮様借奉ニ後伺書ハ両
御所ヘ
成ル
御進ル
御成ル
去ル
仰付ル様ニ
右進ル

十七
一正米信米文拾八俵 [illegible]
勅使へ渡
六月十七
一宮様へ歳末居祝儀
御吳服代　五石
吳進上ニ而進上　今年も同様
ニ進上
六月
右御使者へ差出
十九
一米米ニ進上御吳服代後
而代へ出而相済ニ進
九月ニ
一勅列へ居使江大坂十二日
出立ニ付武家へ申渡
十月十日
一今年ニ進上ニ而金拾石
正米信濃年中不残正信
十九
一江戸大坂時ニ八藩家江壹
石次ニ　任勅宣ニ依願ニ
御下
一壹中ニ年ニ者一切ニ
十二月十日
一宮様當年御婚礼ニ付壹
ニ付
禁中へ視来一四六拾石

以前[illegible]年[illegible]南年迄
四年[illegible]一ヶ年四拾石宛
[illegible]後[illegible]毎歟
[illegible][illegible]今日相[illegible]
[illegible]

同三年年十月廿一日

一御領被進

元文二年六月晦日

七月廿九日

御知行目録書付

一折

大波丹後守

十月九日

小堀二嘉[illegible]

[illegible]知行目録書付

[illegible]両傳所司代附武家

[illegible]目録[illegible]

[illegible]御使[illegible]

小堀二嘉[illegible]

一折

生翻

[illegible]

一宮様来廿七日御袖留居定

仙

佛出

一金百疋御紙幅両元服料上

一御硯箱一蓋 頂戴

一御硯箱一蓋 頂戴

一御硯箱一蓋 頂戴

一中堀ヶ正敬ヶ銀四拾匁宛文面

ヶ月前前者文用 [illegible]

ヶ月ヶ法之前ヶ書文為ヶ備反

院文石見者御所市郎書文

十二月十四日

一中堀ヶ正敬ヶ銀ヶ張ヶ内六匁宛

張ヶ書文

四拾匁宛文面ヶ内

四匁宛 ヶ月分 [illegible]

六匁宛 十二月分 [illegible]

[illegible] 拾匁宛元服文 [illegible]

三拾匁宛文面元服文 [illegible]

十七

一年賦四拾石 [illegible] 又

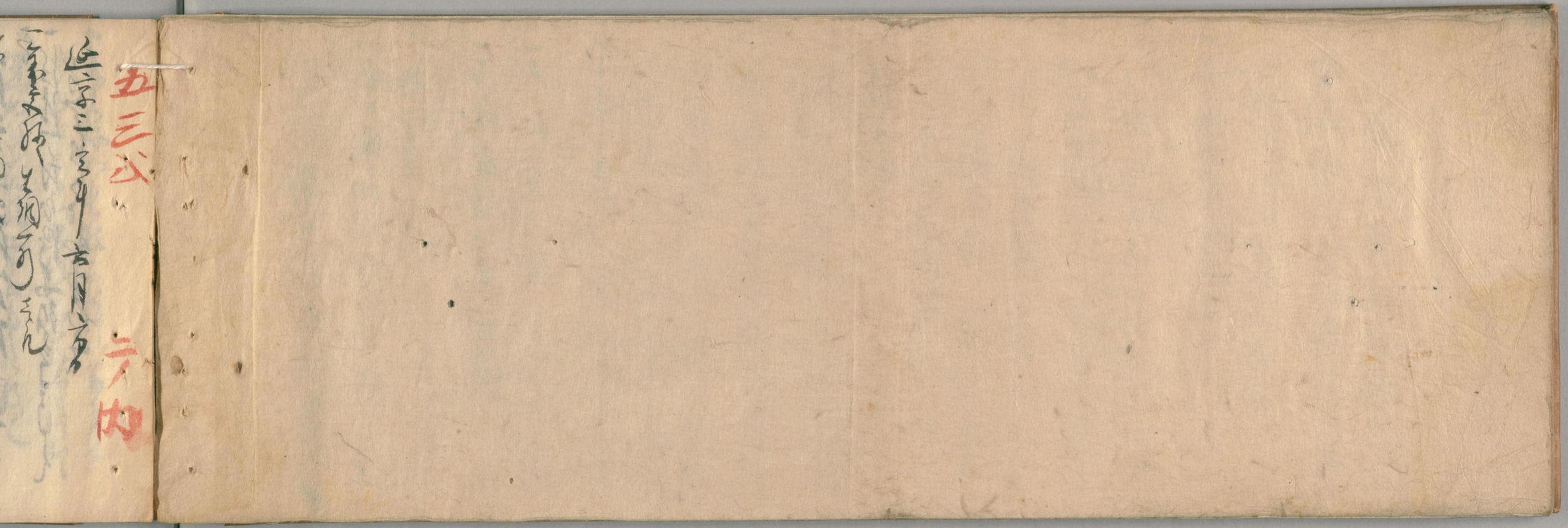
三拾石ヶ内十文石 相附

一御輦出来八陣度ヶ持参文分

院御所奏者ヶ相渡

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用



五三八
六内

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

二ノ内

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

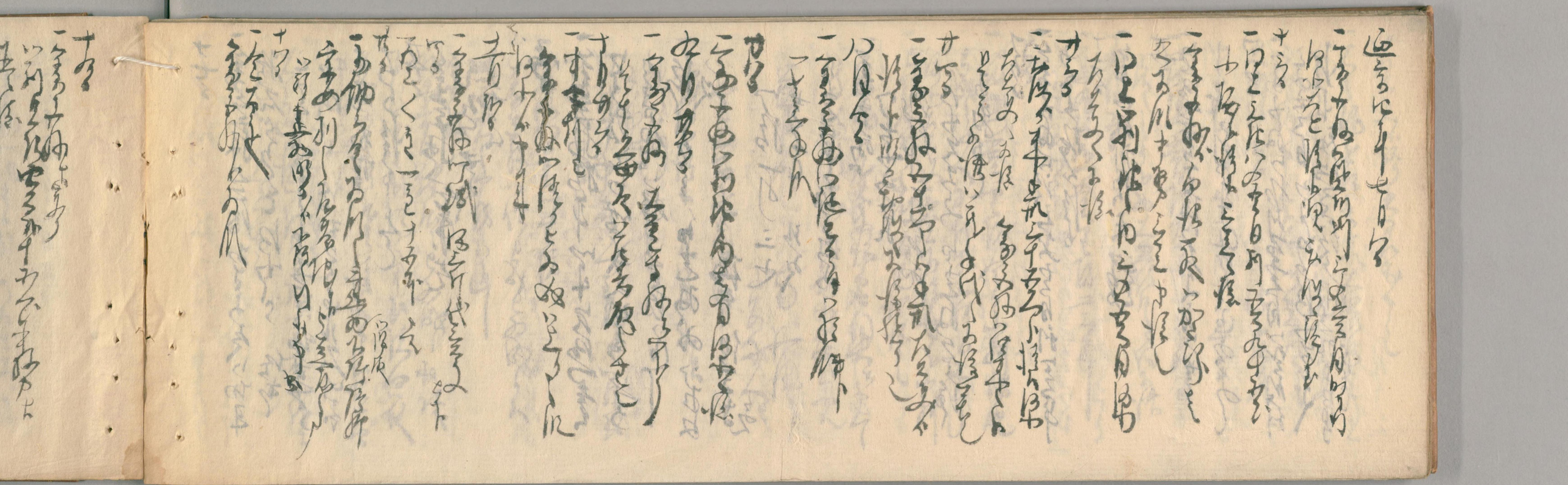
十七

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

十七

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

五三冊

元丙

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

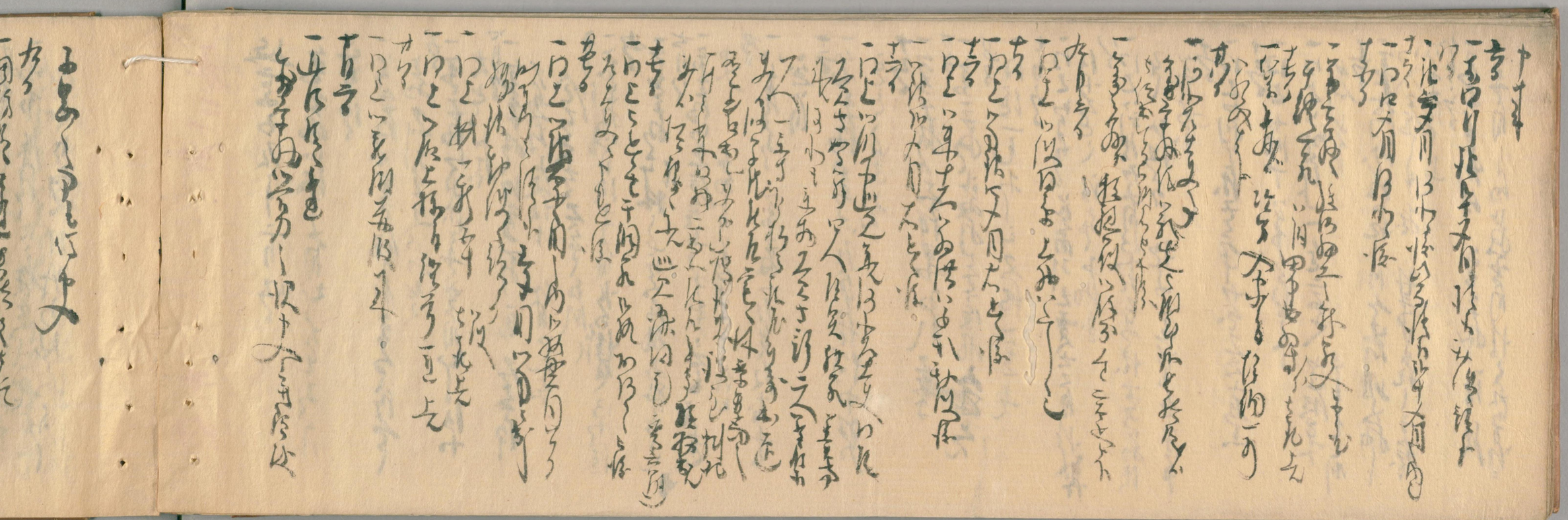
ガラス使用

五三

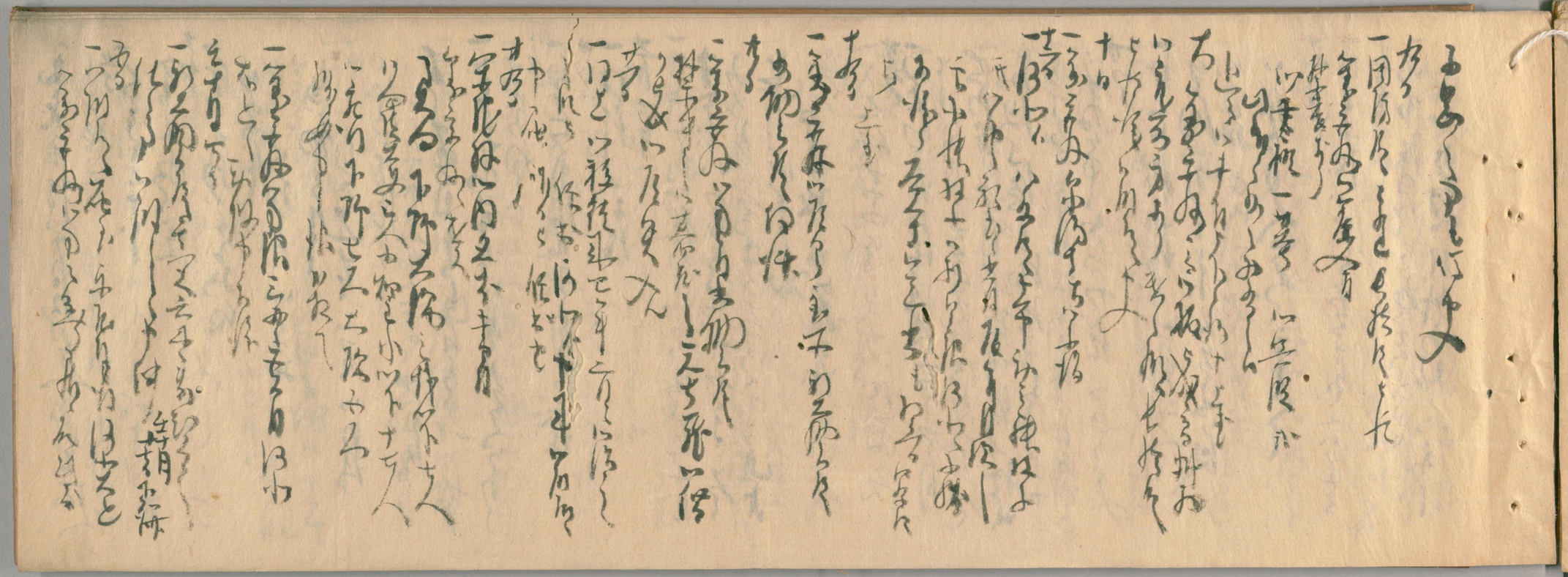
元内

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用



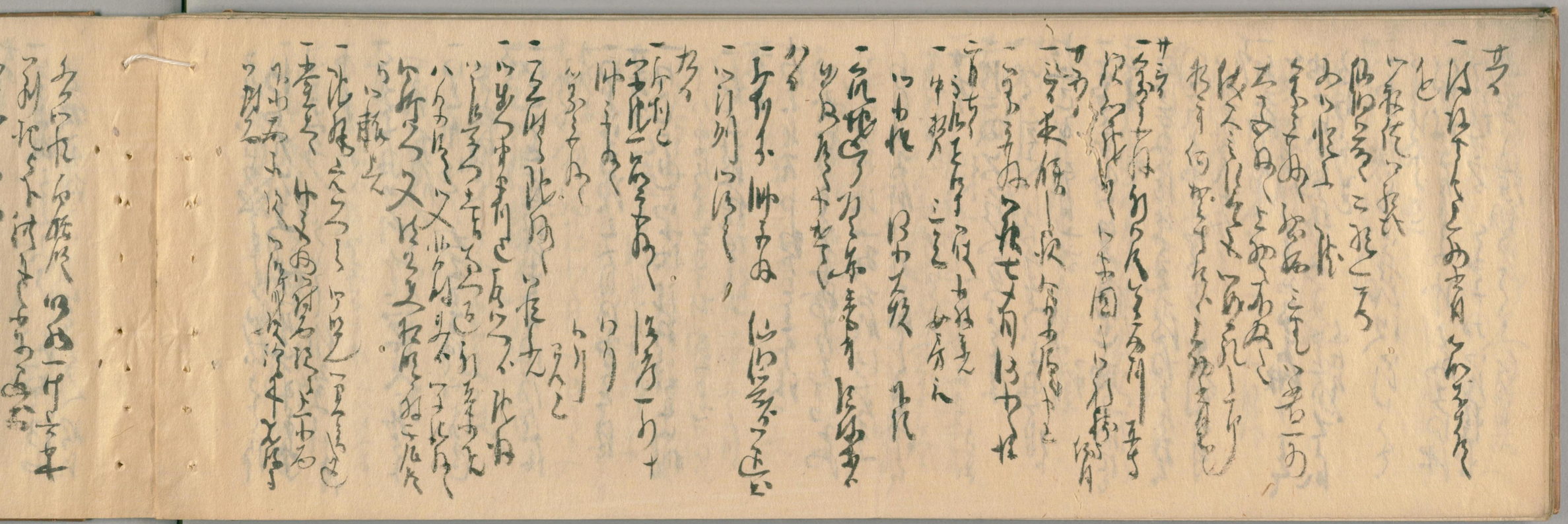
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

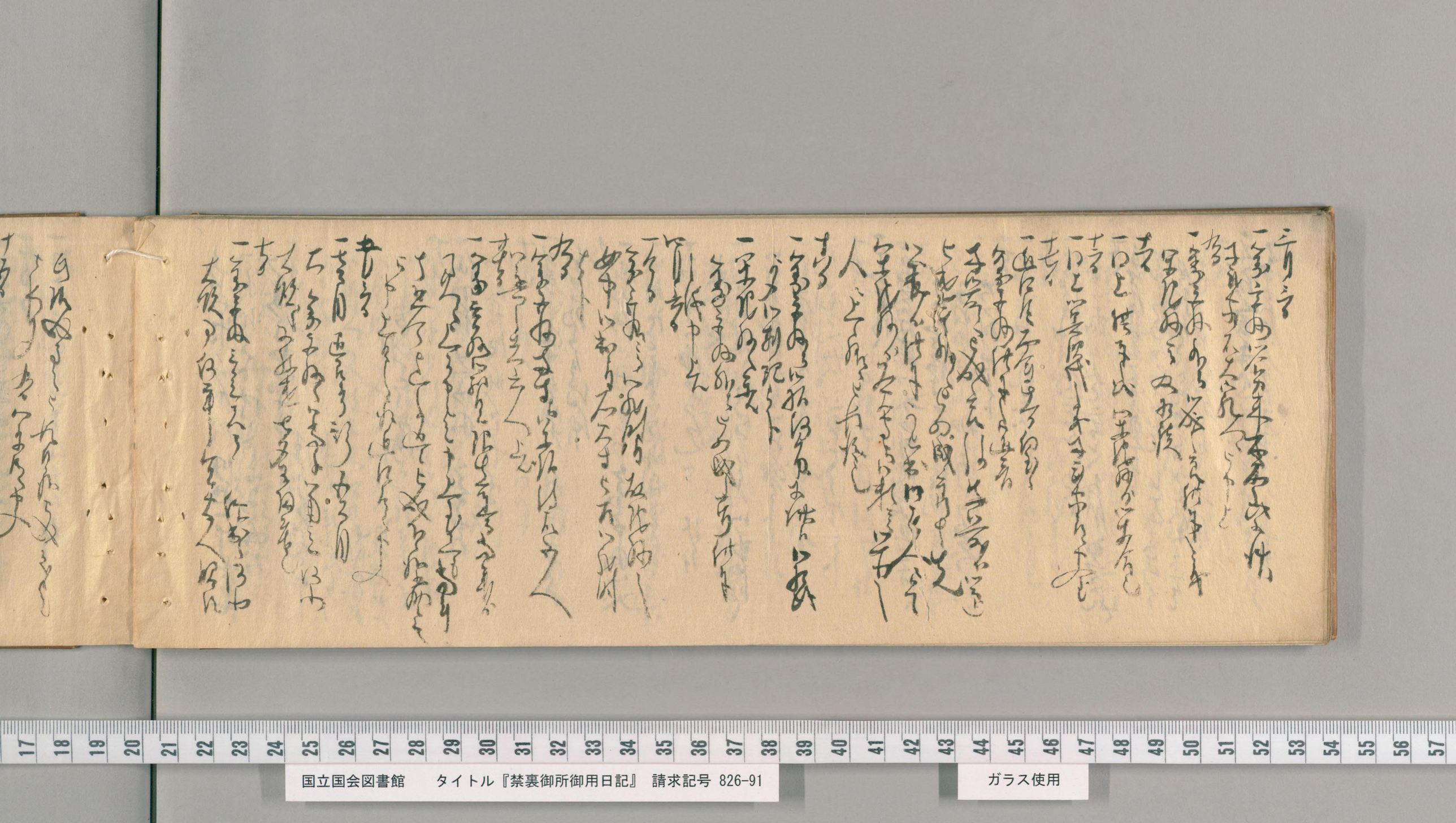
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

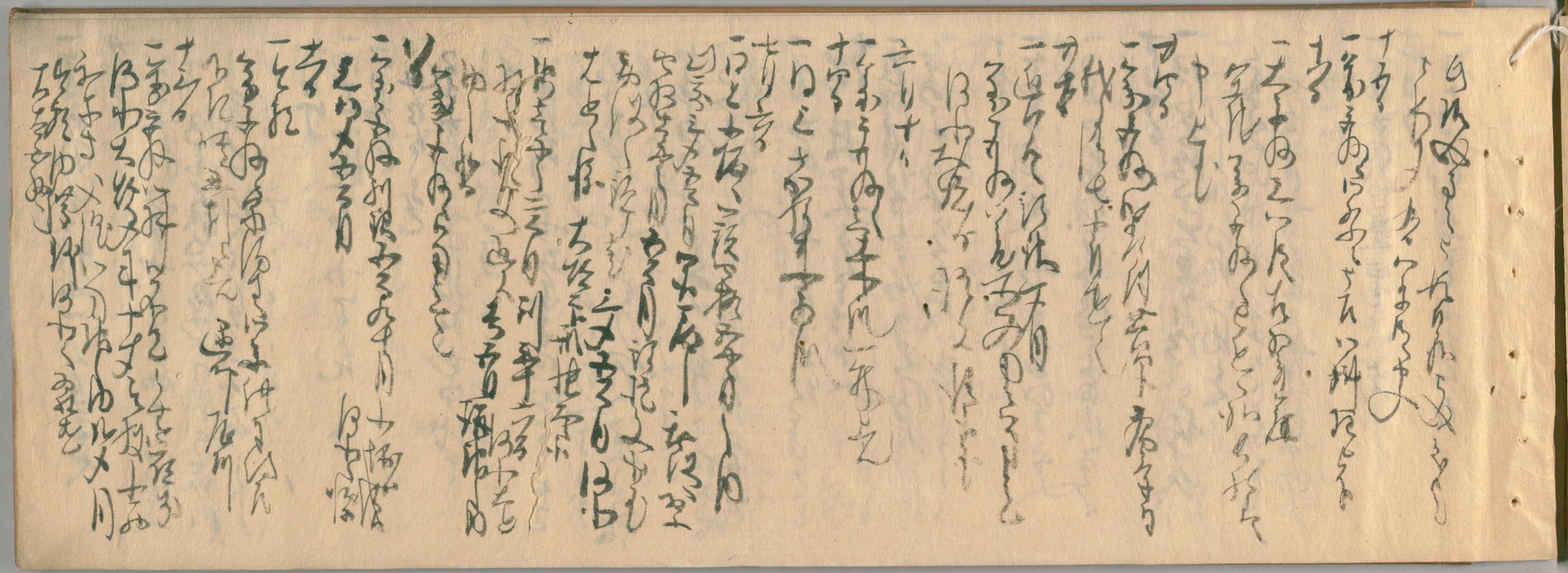


国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

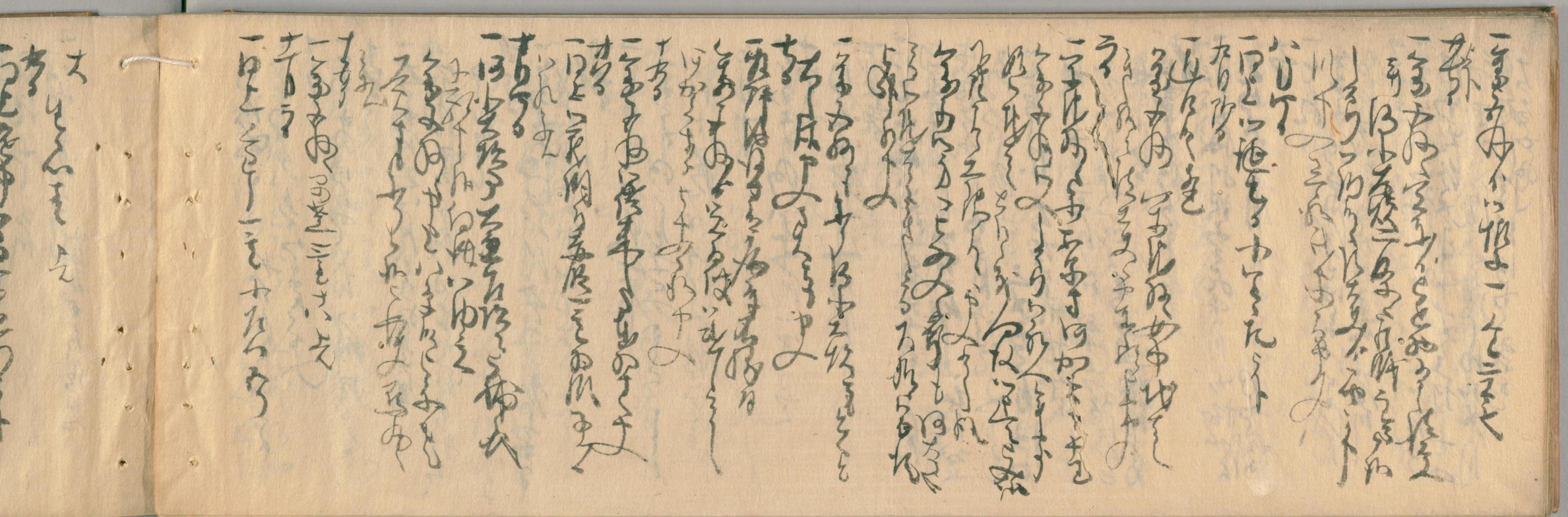
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用



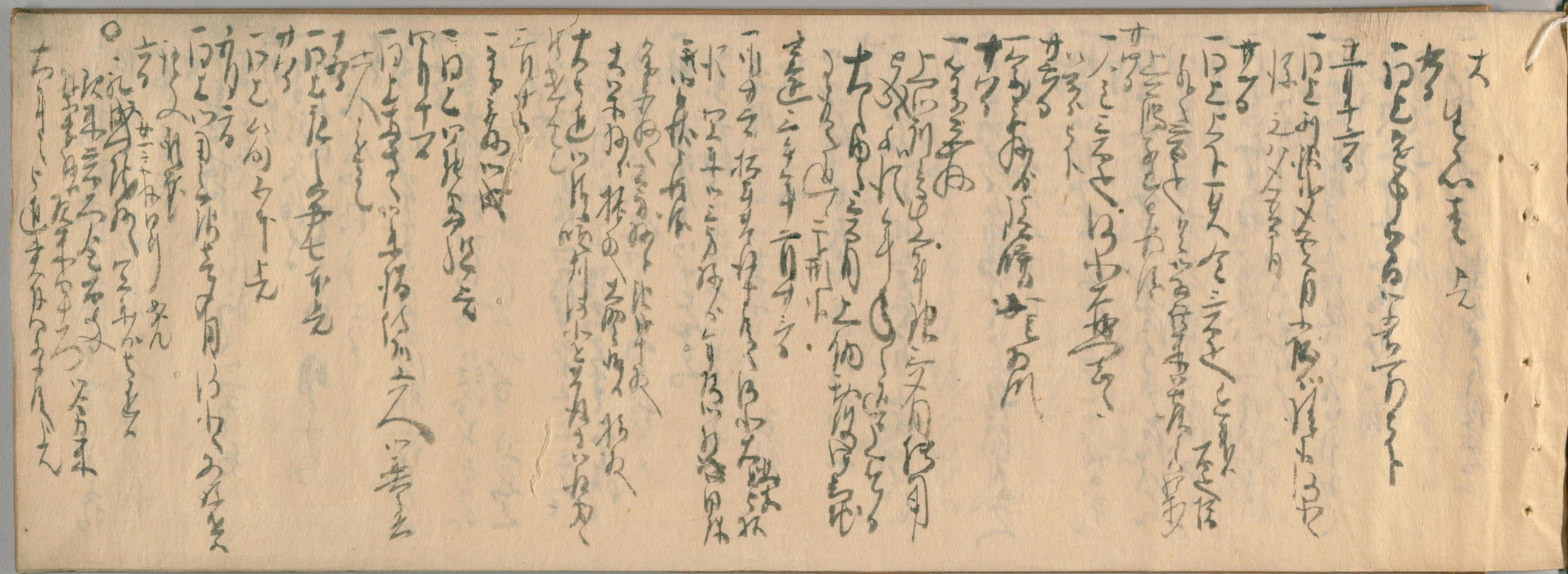
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用